

施工手順書④-2

クローゼット

物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事

③扉・金物の取付

③-1. 開き戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊)

⑥ヴェトロ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイングドア

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚引違い戸(上吊)

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認ください。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

☐物入 片/両開き戸

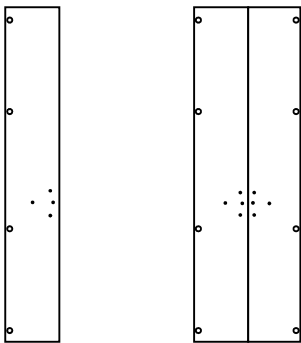
forステルス枠

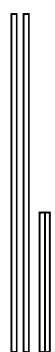
施工手順書2014/8作成

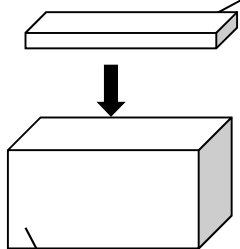
改訂2021/9

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

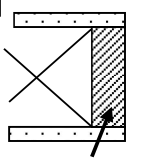
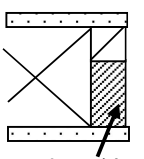
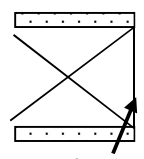
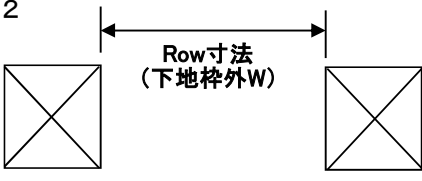
建具			同梱品	取手	ソフトクローズキャッチ	スライド丁番																							
部材	数量	備考			 1ヶ(両開きは2ヶ)																								
物入片開き戸	1枚			プッシュラッチ(オプション品)			<table><tr><td></td><td>片開き</td><td>両開き</td></tr><tr><td>H09</td><td>2ヶ</td><td>4ヶ</td></tr><tr><td>H12</td><td>3ヶ</td><td>6ヶ</td></tr><tr><td>H18</td><td>4ヶ</td><td>8ヶ</td></tr><tr><td>H21</td><td>4ヶ</td><td>8ヶ</td></tr><tr><td>H24</td><td>4ヶ</td><td>8ヶ</td></tr><tr><td>H27</td><td>5ヶ</td><td>10ヶ</td></tr></table>		片開き	両開き	H09	2ヶ	4ヶ	H12	3ヶ	6ヶ	H18	4ヶ	8ヶ	H21	4ヶ	8ヶ	H24	4ヶ	8ヶ	H27	5ヶ	10ヶ	
	片開き	両開き																											
H09	2ヶ	4ヶ																											
H12	3ヶ	6ヶ																											
H18	4ヶ	8ヶ																											
H21	4ヶ	8ヶ																											
H24	4ヶ	8ヶ																											
H27	5ヶ	10ヶ																											
物入両開き戸	2枚		 1ヶ(両開きは2ヶ)																										
																													

下地枠			同梱品	施工手順書			
部材	数量	備考					
縦枠	2本						
上枠下地	1本						
							

下地金物箱			同梱品	取付ビス	座金	化粧キャップ																																	
部材	数量	備考				 ※片開き戸のみ																																	
金物	一式			<table><tr><td>H09</td><td>4ヶ</td></tr><tr><td>H12</td><td>6ヶ</td></tr><tr><td>H18</td><td>8ヶ</td></tr><tr><td>H21</td><td>8ヶ</td></tr><tr><td>H24</td><td>8ヶ</td></tr><tr><td>H27</td><td>10ヶ</td></tr></table>	H09	4ヶ	H12	6ヶ	H18	8ヶ	H21	8ヶ	H24	8ヶ	H27	10ヶ	<table><tr><td></td><td>片開き</td><td>両開き</td></tr><tr><td>H09</td><td>2ヶ</td><td>4ヶ</td></tr><tr><td>H12</td><td>3ヶ</td><td>6ヶ</td></tr><tr><td>H18</td><td>4ヶ</td><td>8ヶ</td></tr><tr><td>H21</td><td>4ヶ</td><td>8ヶ</td></tr><tr><td>H24</td><td>4ヶ</td><td>8ヶ</td></tr><tr><td>H27</td><td>5ヶ</td><td>10ヶ</td></tr></table>		片開き	両開き	H09	2ヶ	4ヶ	H12	3ヶ	6ヶ	H18	4ヶ	8ヶ	H21	4ヶ	8ヶ	H24	4ヶ	8ヶ	H27	5ヶ	10ヶ	
H09	4ヶ																																						
H12	6ヶ																																						
H18	8ヶ																																						
H21	8ヶ																																						
H24	8ヶ																																						
H27	10ヶ																																						
	片開き	両開き																																					
H09	2ヶ	4ヶ																																					
H12	3ヶ	6ヶ																																					
H18	4ヶ	8ヶ																																					
H21	4ヶ	8ヶ																																					
H24	4ヶ	8ヶ																																					
H27	5ヶ	10ヶ																																					
 セット毎に梱包 邸別段ボール箱																																							

1 施工前の確認事項

- ① 上枠下地・縦枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）

※1				
	隙間がある	隙間がある	隙間なし	
※2				
	図面上のRow寸法（下地枠外W）の確認			

注意

※1: 縦枠は躯体（構造材）と面接合するように取り付けますので、縦枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。

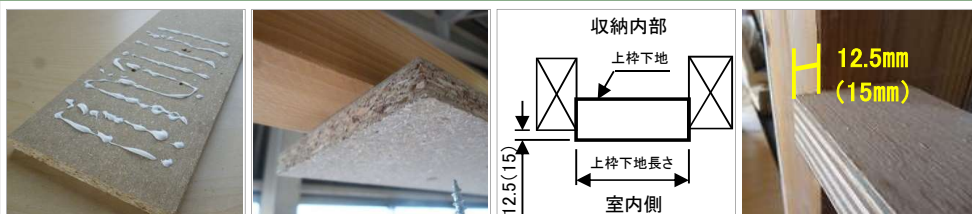
※2: 施工前のW寸法確認は、図面上のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。

※開口部(柱・まくさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

2 上枠下地の取り付け

- ① 上枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にてまぐさに固定します。その際、上枠下地は壁のボード面からの位置となりますので、柱面からボード厚み12.5mm（15mm）前に出して取り付けてください。（長さは柱から柱の寸法となります）

※（ ）内寸法は準耐火納まりの場合を示します。

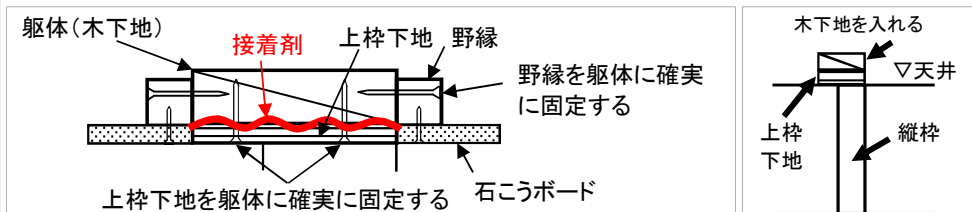


下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

上枠下地の取り付け位置
標準：12.5mm 準耐火納まり：15mm

- ② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。



石膏ボードの厚さ分を確保して、野縁を躯体に固定
その後、野縁に石膏ボードを取付ける

上枠下地の裏には
木下地を入れる

注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許じ系をお奨めします)

※下地枠の取り付けには、しっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用してください。

※上枠下地の裏側には、必ず20mm（準耐火納まりの場合、30mm）以上の木下地を入れてください。

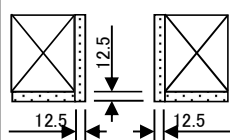
※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。

3 縦枠の取り付け

- ① 柱の枠を取付ける面に石膏ボードを取付けます。
 その後縦枠を金物箱に同梱されているビスにて石膏ボードに面付けで取付けます。取り付け位置は、ボード面から収納内部に33mm入った所に取り付けます。その際、上枠下地と縦枠の端が合う様に取り付けてください。

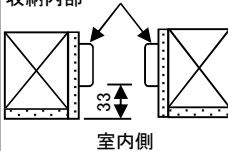
【標準納まりの場合】

収納内部

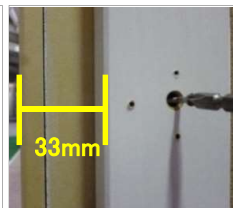


12.5mm石膏ボードを取付ける

収納内部



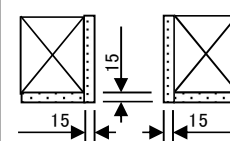
縦枠を石膏ボードの上から取付ける
室内側



※縦枠は正寸カットで納品していますので現場にてカットしないでください。

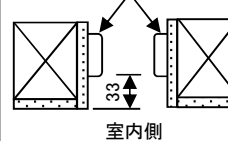
【準耐火納まりの場合】

収納内部

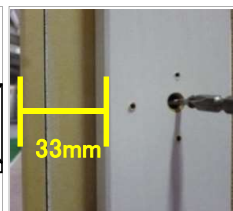


15mm石膏ボードを取付ける

収納内部



縦枠を石膏ボードの上から取付ける
室内側



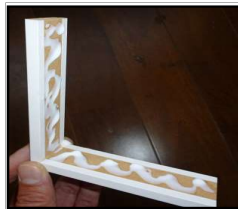
※縦枠は正寸カットで納品していますので現場にてカットしないでください。

注意

※収納内部に棚を設置する場合は、縦枠よりも裏側の位置に取り付けてください。

4 巾木・クロス施工(塗り壁の場合は別紙塗り壁仕様参照)

- ① 巾木を接着剤にて取り付けてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布



巾木の取り付け方

- ② パテ等の下地処理をした後で、クロスを貼ってください。
 (メッシュ→下塗り→上塗りをお奨めします)



メッシュテープ貼り



パテ処理

注意

※巾木は厚さ7mm以外の物は対応しておりませんので、ご注意ください。

□物入 片/両開き戸

forステルス枠

施工手順書2014/8作成

改訂2021/9

5 スライド丁番の取り付け・座金の取り付け

- ① 建具を吊り込む前に、建具裏側の加工位置に合わせて、付属のビスでスライド丁番を取り付けます。最後は手動ドライバーで完全に固定してください。
丁番は建具に同梱されています。



スライド丁番の取り付け

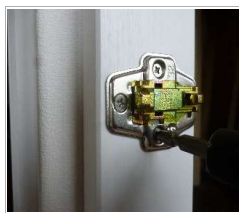


手動ドライバーで完全に固定

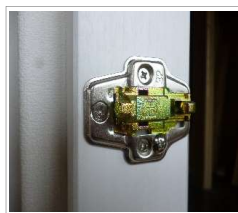
- ② 枠に座金を取り付けます。あらかじめ下穴があいておりますので、付属のビスにて取り付け、最後は手動ドライバーでもって完全に固定してください。
座金は金物箱に同梱されています。



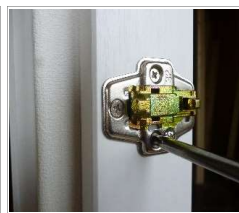
枠の座金用の下穴加工



座金の取り付け



座金の取り付け完了



手動ドライバーで完全に固定

注意

※ビス固定の際は、ビスを垂直に挿入して固定してください。

※電動ドライバー等で強く締めすぎるとビス頭が潰れてしまう恐れがありますので、トルク調整に注意し、最後は手締めにて完全に固定してください。

※片開きの場合は吊元側のみ座金の下穴加工がされています。

6 建具の吊り込み

- ① 枠側の座金の手前のくぼみ部分に、スライド丁番裏側の掛かり部分を引っ掛けます。



座金金物



座金の手前のくぼみ部分に引っ掛ける

- ② スライド丁番のクリップ部分を、座金の突起部分に押し当てて装着させ、吊り込み完了です。
また、はずす時は奥の黒い部分を押し脱着させてください。



クリップ部分を座金の突起部分に押し当てる



装着時の「パチン」の音を確認



はずす時は奥の黒い部分を押し



脱着させる

注意

※建具の上下の取り違いにご注意ください。

※スライド丁番と座金は、パチンと音が鳴るまでしっかりと押し当てて装着してください。

□物入 片/両開き戸

forステルス枠

施工手順書2014/8作成

改訂2021/9

7 取手・ソフトクローズキャッチの取り付け(塗り壁の場合は別紙塗り壁仕様参照)

- ① 取手付の場合は、取手によって取付け穴が違います。裏側に半貫通の穴があいていますので、下穴を貫通させて付属のビスにて取手を取り付けてください。(取手は建具に同梱されています)



建具裏面の半貫通穴 (Φ4.5) をドリルで貫通させる



取手の取り付け
(両開きの場合)

- ② ソフトクローズキャッチを取り付けます。図を参照し、開口上部所定位置 (両開き戸の場合は2箇所) にソフトクローズキャッチを取り付けてください。(ソフトクローズキャッチは別途下地金物箱にあります)

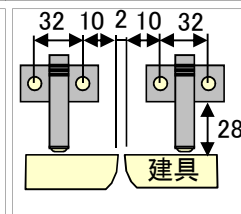


ソフトクローズキャッチの取り付け



吊元側

取り付け位置
(片開き)



取り付け位置
(両開き)

注意

- ※下穴を貫通させる前に取手の取り付けピッチを確認してください。
※下穴を貫通させる時は、垂直に穴を開けてください。
※ソフトクローズキャッチでの調整はできませんので、取り付け位置を確認してください。

8 スライド丁番での調整

- ① 建具吊り込み後に調整が必要な場合は、図の手順に従って調整してください。調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。調整は建具を吊ったままの状態で行えます。



上下方向の調整
ビスを緩めて丁番を上下にスライドさせる



左右方向の調整
時計回り → 戸先側に寄る
反時計回り → 吊元側に寄る



前後方向の調整
ビスを緩めて丁番を前後にスライドさせる

【調整範囲】

上下方向 : ±1.5mm
左右方向 : 戸先側3.0mm / 吊元側1.0mm
前後方向 : ±2.0mm

調整範囲

注意

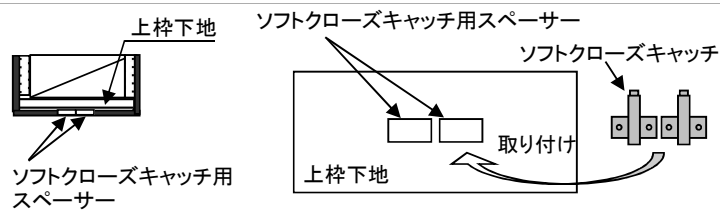
- ※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。
※上下調整が必要な方の建具の縦枠に取り付いているすべての座金で、調整が必要となります。
※両側の座金取り付け箇所調整操作が反転しますので、ご注意ください。

塗り壁仕様施工方法

forステルス枠
 施工手順書2014/8作成
 改訂2021/9

1 塗り壁施工前手順

- ① ソフトクローズキャッチの取り付け
 物入れ両（片）開き戸の下り壁仕様の場合、ソフトクローズキャッチをソフトクローズキャッチ用スペーサーの上から取り付けてください。



ソフトクローズキャッチをソフトクローズキャッチ用スペーサーの上から取り付け

注意

※物入れ両（片）開きの下り壁の塗りは、ソフトクローズキャッチ用スペーサーと同面まで塗ってください。

MK-4型【現場クロス貼り時の注意事項】

forステルス枠
 施工手順書2014/8作成
 改訂2021/9

1 MK-4型(現場クロス貼り用収納扉)の姿図

- ① 扉の表面はMDF素地、裏面は化粧シート貼り(クロス見切り用の溝加工済・スライド丁番の座堀加工済)仕様となります。



扉の表面(MDF素地)

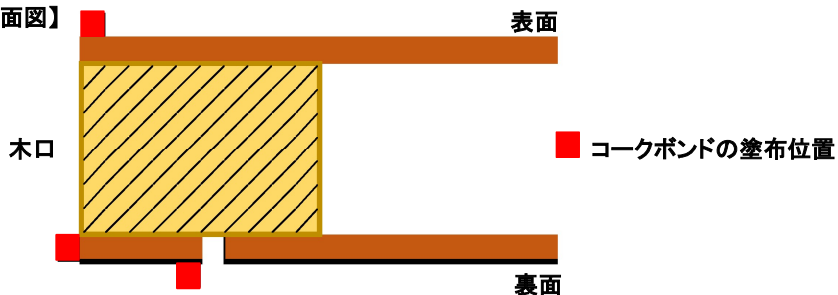


扉の裏面(化粧シート貼り)
 クロス見切り用の溝加工済・スライド丁番の座堀加工済

2 コークボンドを併用してクロスを貼る

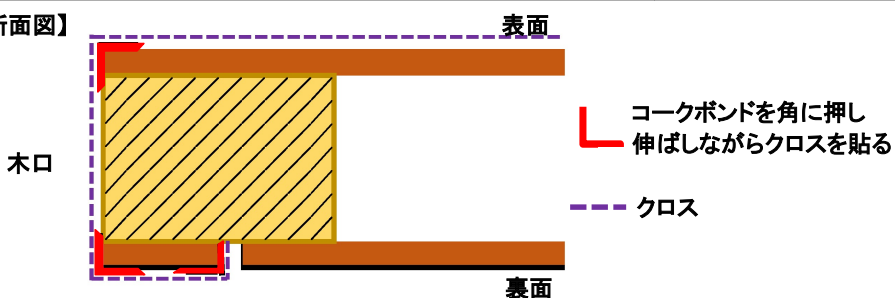
- ① 4 方の扉木口にコークボンドを3列木口の角に沿って一直線に塗布してください。

【扉の断面図】



- ② 糊付けしたクロスでコークボンドを巻き込み、コークボンドを角に押し伸ばしながらクロスを貼ってください。

【扉の断面図】



注意

- ※クロスの厚みは0.5mm以下としてください。
 ※木粉が付いている場合は乾いたウエスでよく拭き取ってからクロスを貼ってください。

☐物入 4枚/6枚開き戸

forステルス枠

施工手順書2021/9作成

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同梱品	取手(4型)		ソフトクローズキャッチ		スライド丁番			4枚		6枚	
部材	数量	備考					H09	4ヶ	8ヶ	H12	6ヶ	12ヶ		
物入4枚開き戸	4枚						H18	8ヶ	16ヶ	H21	8ヶ	16ヶ		
物入6枚開き戸	6枚						H24	8ヶ	16ヶ	H27	10ヶ	20ヶ		
				プッシュラッチ(オプション品)										
				吊り込み用治具			座金				4枚	6枚		
										H09	4ヶ	8ヶ		
										H12	6ヶ	12ヶ		
							H18	8ヶ	16ヶ					
									H21	8ヶ	16ヶ			
									H24	8ヶ	16ヶ			
									H27	10ヶ	20ヶ			

下地枠			同梱品	施工手順書					
部材	数量	備考							
開口定規	1								

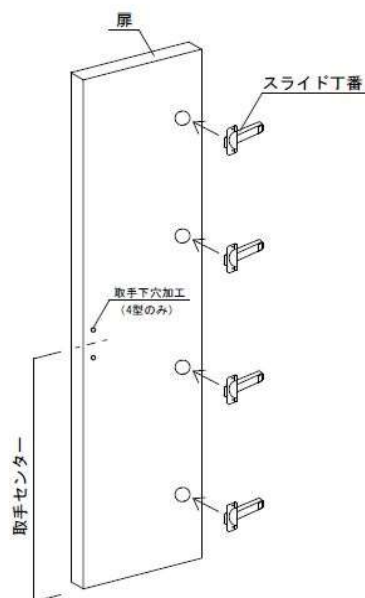
□物入 4枚/6枚開き戸

forステルス枠

施工手順書2021/9作成

① スライド丁番の取付

扉の加工部分にスライド丁番を取付けてください。



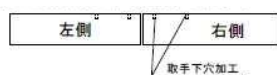
< 注意事項 >

扉の上下左右の向きに注意して施工してください。

・2型はJエッジの加工が大きい方が右側となります。

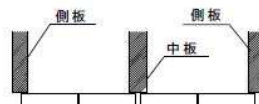


・4型は取手の下穴加工が木口から小さい方がそれぞれ戸先側となります。

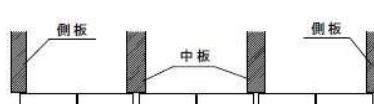


② 座金の取付

- (1) 扉下に7mm厚の板を挟み、扉を開いた状態で、縦枠材に合わせる。
スライド丁番の高さに合わせて中板・側板の座金取付け高さを決める。
- (2) スライド丁番の高さ位置に合わせた上で、中板・側板の端部から11mmと34mmの位置に下穴加工をしてください。
- (3) 中板・側板の下穴加工に合わせて、座金をビス止めしてください。

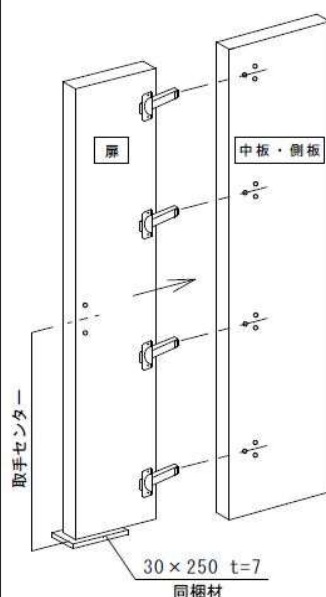


※中板・側板は現場手配



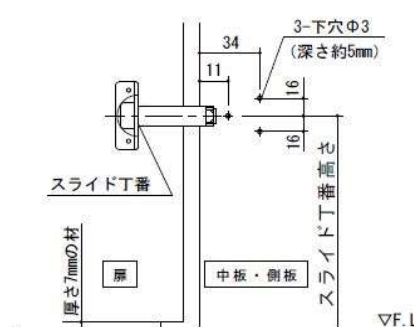
(1) 座金の取付位置の確認

※スライド丁番の高さに合わせて座金取付け高さを決

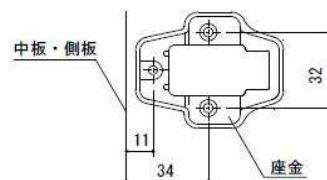


(2) 座金取付け用の下穴加工寸法

※中板・側板の端部から11mmと34mmの位置に下穴加工をしてください



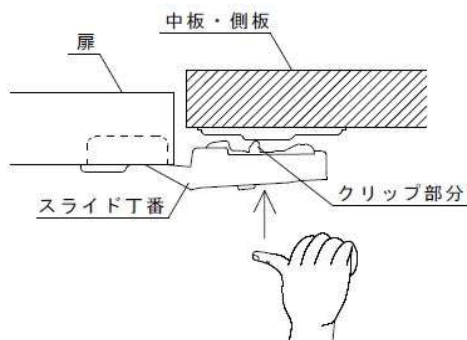
(3) 座金取付位置



③ 建具の吊り込み

クリップ部分を座金の突起部分に押し当ててください。
“パチン”という音が鳴れば、
吊り込み完了です。

※扉の上下にご注意ください。(取手センターを確認)



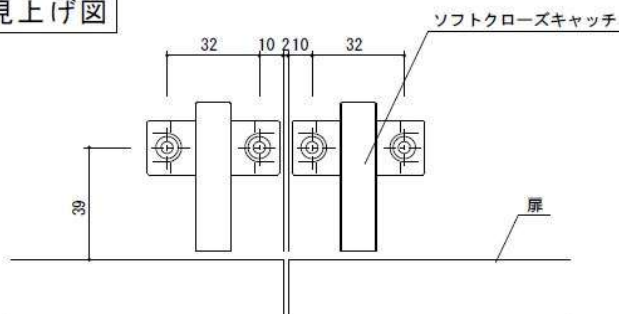
④ ソフトクローズキャッチの取付

天井にソフトクローズキャッチを取付けてください。
取付位置は下図の通りです。

※ソフトクローズキャッチでの調整はできませんので、取付位置を確認して施工してください。

※下穴を開ける時は、垂直に穴を開けてください。

見上げ図



注意

- ・中板にも荷重がかかるので中板を取付ける際は十分強度を確保して取付けてください。
- ・中板、側板の正面の小口面は扉と近似色にすることをおすすめします。